

岡山県感染症週報

2011 年 第 34 週（8 月 22 日～ 8 月 28 日）

岡山県では『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2011 年 第 34 週（8/22～8/28）の感染症発生動向（届出数）

■全数把握感染症の発生状況

- 第 32 週 2 類感染症 結核 2 名（50 代 男 2 名）
 第 33 週 2 類感染症 結核 3 名（50 代 男 1 名・女 1 名、80 代 女 1 名）
 第 34 週 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 名
 （O157 幼児 男 1 名、50 代 女 1 名）の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

- ヘルパンギーナは、全県では先週より減少しました。感染症発生レベル3 がつづいていた岡山市もレベル1 になり、流行は終息に向かっています。
 ○手足口病は、先週と同数で流行は終息に向かっています。
 ○流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、全県では減少しました。前週、感染症発生レベル2 の倉敷市はレベル1 になりましたが、備中地域ではレベル2 が継続しています。

【速報】第 35 週 腸管出血性大腸菌感染症 2 名（O165 20 代 女、O157 30 代 女）の発生がありました。

- 腸管出血性大腸菌感染症は、今年 8 月 31 日までに 46 名の発生がありました。8 月は例年 1 年で最も発生が多くなりますが、今年は 8 月でも 11 名と過去 10 年においては去年と同様少なくなりました。しかし、今後もしばらく高温多湿の気候がつづきますので、食品の取り扱いに注意する・手洗いを励行するなど感染予防に努めて下さい。岡山県では腸管出血性大腸菌感染症注意報を発令し、感染予防を呼びかけています。県内の発生状況・症状・感染予防などについては、感染症情報センターホームページ [『腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中！』](#) をご覧下さい。
- ヘルパンギーナの定点あたり患者数は、全県では減少しました（定点あたり 1.54 → 1.07 人）。第 26 週から大きな流行が継続しつつあると考えられる感染症発生レベル 3 がつづいていた岡山市でも、レベル 1 になり、県内全域で流行は終息に向かっています。
- 手足口病の定点あたり患者数は、前週と同数で（定点あたり 1.24 → 1.24 人）、流行は終息に向かっています。
 ヘルパンギーナ、手足口病の今週の動向については、『今週の注目感染症』をご覧ください。
- 流行性耳下腺炎の定点あたり患者数は、全県では減少しました（定点あたり 1.91 → 1.46 人）。倉敷市では、流行が継続していると考えられる感染症発生レベル2 からレベル 1 になりましたが、備中地域ではレベル2 がつづいています。今年は発生の多い状態で推移しており、発生の多い地域では感染に注意して下さい。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ			RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★★
細菌性髄膜炎		★	無菌性髄膜炎		★★
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

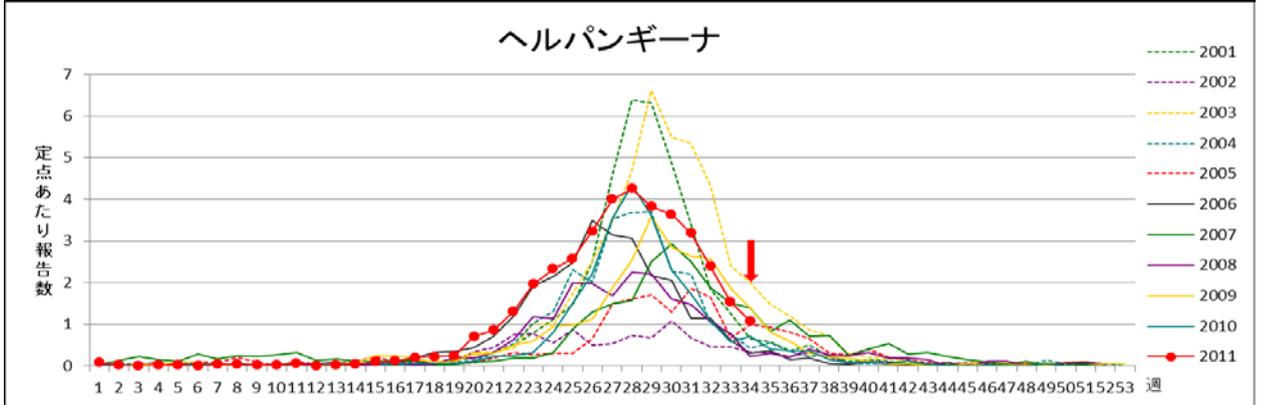
前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↗ 1.1～2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

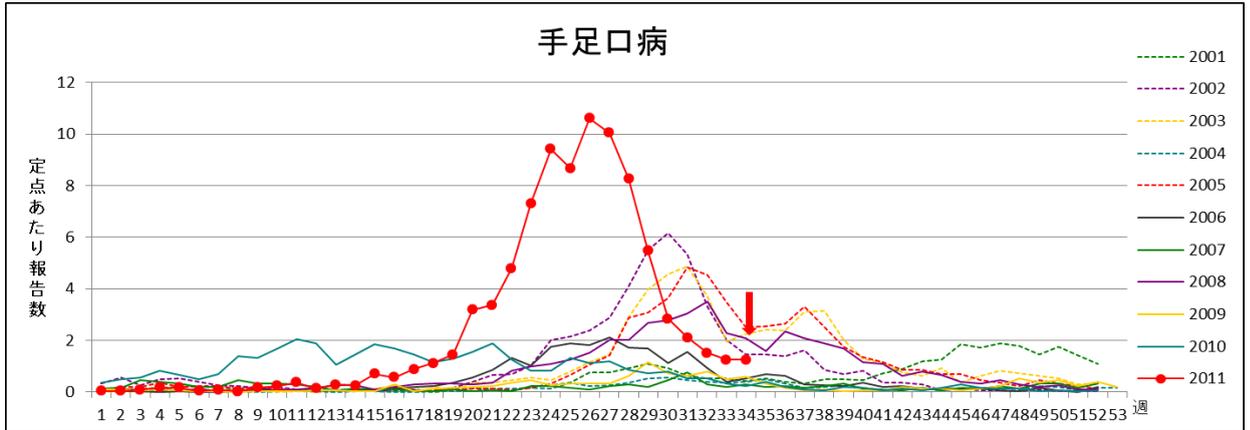
今週の注目感染症

1. ヘルパンギーナ



ヘルパンギーナの定点あたり患者報告数は、全県では減少しました（83 → 58人 定点あたり 1.54 → 1.07人）。地域別では、ほとんどの地域で減少あるいは横ばいで、第26週から大きな流行が継続しつつあると考えられる感染症発生レベル3がつづいていた岡山市でも、レベル1になりました。県内全域で流行は終息に向かっています。

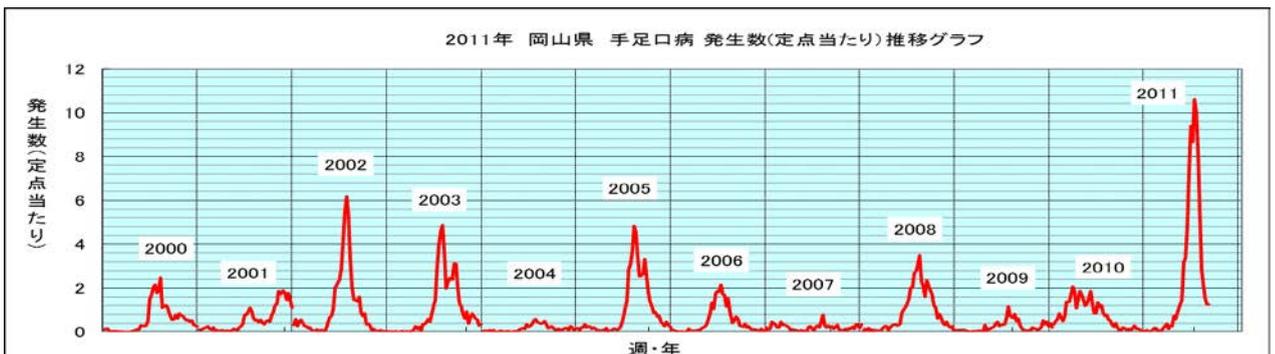
2. 手足口病

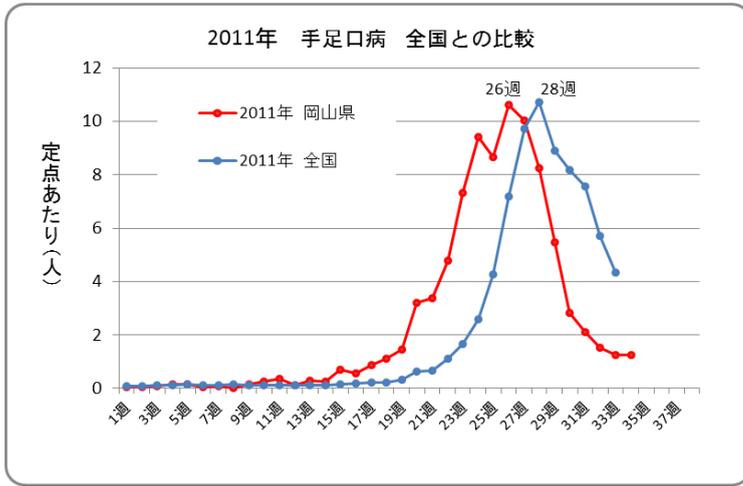


手足口病の定点あたり患者数は、前週と同数で（67 → 67人 定点あたり 1.24 → 1.24人）、流行は終息に向かっています。全県では発生が減少しましたが、岡山市や備中地域など、発生が増加した地域もありますので、ひきつづき感染予防に心がけ、うがい・手洗いを励行しましょう。

患者は3歳以下が75%を占めています。

【手足口病 流行状況まとめ】

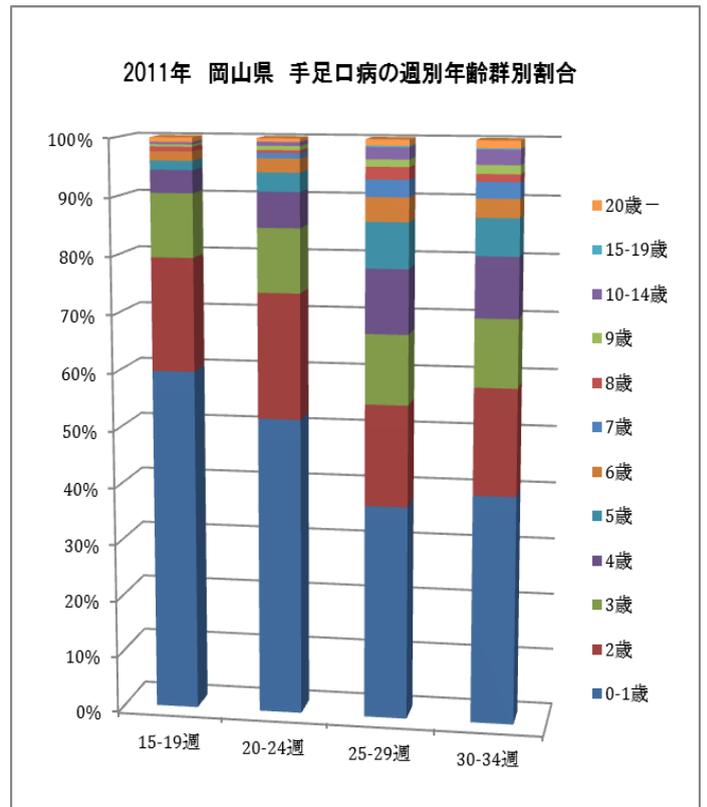
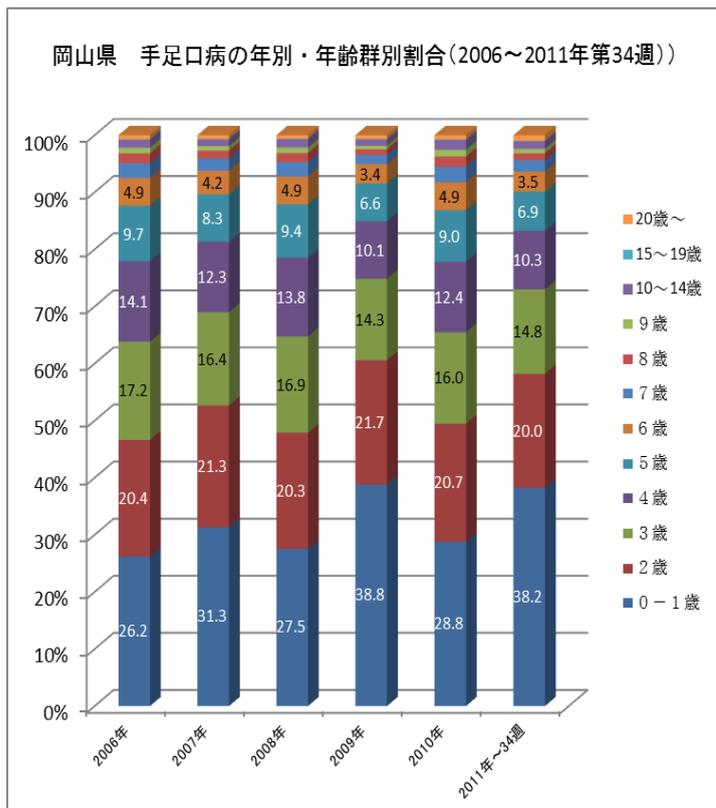




手足口病は例年、第19週（5月中旬）に患者数が増加し始め、第29～30週（7月中旬～下旬）にピークを迎え、8月に入ると減少していくという経過をとります。

今年度の岡山県における手足口病は、全国の中でも早い第15週（4月中旬）から、患者が増加し始め、第26週（6月下旬）に流行はピークを迎え、7月に減少しました。発生時期・ピークともに時期が早く、患者数も2.5倍と、例年とは異なる流行パターンとなりました。

岡山県では6月16日に手足口病流行の注意喚起を行い、感染予防と、早めの受診を呼びかけました。



患者の年齢は、3歳以下がほとんどですが、2011年の年齢群別割合を過去5年と比較すると、今年度は0～1歳の割合が例年より高くなっており、全国でも同様の傾向が見られました。また、流行が拡大するにつれ、4～6歳の患者割合が増加しました。

岡山県では8月31日現在、手足口病患者の咽頭拭い液35件（2011年3～7月採取）から、コクサッキーウイルスA6型が検出されています。全国的にも手足口病患者から主に、コクサッキーウイルスA6型が検出されており、これまで手足口病からあまり検出されていなかったウイルスが主原因となりました。

今年度の手足口病は、高熱をとまうことがあり、典型的な発生例と比べて発疹が大きく、大腿部・臀部に高頻度に認められ、手・足底には少ない症例が目立つという報告がされています。

全国の手足口病、ヘルパンギーナ患者からの検出ウイルスについては、国立感染症研究所 感染症情報センター 病原微生物検出情報 をご覧ください。

今年度のコクサッキーウイルスA6型検出状況 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-tj.html>

2007-2011の手足口病からの検出ウイルス <https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data37j.pdf>

2007-2011のヘルパンギーナからの検出ウイルス <https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data38j.pdf>

保健所別報告患者数 2011年 34週 (2011/08/22～2011/08/28)

2011年8月31日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	7	0.13	2	0.14	3	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
咽頭結膜熱	22	0.41	10	0.71	1	0.09	2	0.20	4	0.57	-	-	-	-	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	0.39	2	0.14	13	1.18	1	0.10	2	0.29	1	0.25	-	-	2	0.33
感染性胃腸炎	172	3.19	60	4.29	31	2.82	33	3.30	8	1.14	7	1.75	11	5.50	22	3.67
水痘	22	0.41	15	1.07	1	0.09	4	0.40	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	67	1.24	23	1.64	12	1.09	11	1.10	12	1.71	2	0.50	-	-	7	1.17
伝染性紅斑	13	0.24	6	0.43	1	0.09	-	-	2	0.29	-	-	1	0.50	3	0.50
突発性発疹	37	0.69	18	1.29	6	0.55	4	0.40	2	0.29	-	-	3	1.50	4	0.67
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	58	1.07	16	1.14	16	1.45	6	0.60	6	0.86	3	0.75	2	1.00	9	1.50
流行性耳下腺炎	79	1.46	11	0.79	25	2.27	9	0.90	27	3.86	6	1.50	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	18	1.50	6	1.20	1	0.25	2	2.00	9	9.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-
無菌性髄膜炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	0.60	2	2.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 34週 (2011/08/22～2011/08/28)

2011年8月31日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	22	0.41	10	0.71	1	0.09	2	0.20	4	0.57	-	-	-	-	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	0.39	2	0.14	13	1.18	1	0.10	2	0.29	1	0.25	-	-	2	0.33
感染性胃腸炎	172	3.19	60	4.29	31	2.82	33	3.30	8	1.14	7	1.75	11	5.50	22	3.67
水痘	22	0.41	15	1.07	1	0.09	4	0.40	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	67	1.24	23	1.64	12	1.09	11	1.10	12	1.71	2	0.50	-	-	7	1.17
伝染性紅斑	13	0.24	6	0.43	1	0.09	-	-	2	0.29	-	-	1	0.50	3	0.50
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	58	1.07	16	1.14	16	1.45	6	0.60	6	0.86	3	0.75	2	1.00	9	1.50
流行性耳下腺炎	79	1.46	11	0.79	25	2.27	9	0.90	27	3.86	6	1.50	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	18	1.50	6	1.20	1	0.25	2	2.00	9	9.00	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第34週 2011/08/22～2011/08/28)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	7	-	1	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	22	1	-	1	4	7	1	3	2	1	-	-	2	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	-	-	1	1	3	3	6	5	-	1	-	1	-	
感染性胃腸炎	172	4	9	35	15	21	20	11	8	11	5	3	10	6	14
水痘	22	-	2	4	6	4	1	3	2	-	-	-	-	-	
手足口病	67	2	5	27	9	8	6	3	1	1	2	-	1	-	2
伝染性紅斑	13	-	-	3	1	2	2	2	3	-	-	-	-	-	
突発性発疹	37	1	17	17	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	58	2	7	15	18	6	5	2	2	-	-	-	-	1	
流行性耳下腺炎	79	-	-	8	12	14	12	11	10	2	3	2	3	1	1

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	18	-	-	1	3	1	1	-	1	-	1	-	2	-	2	5	-	1	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

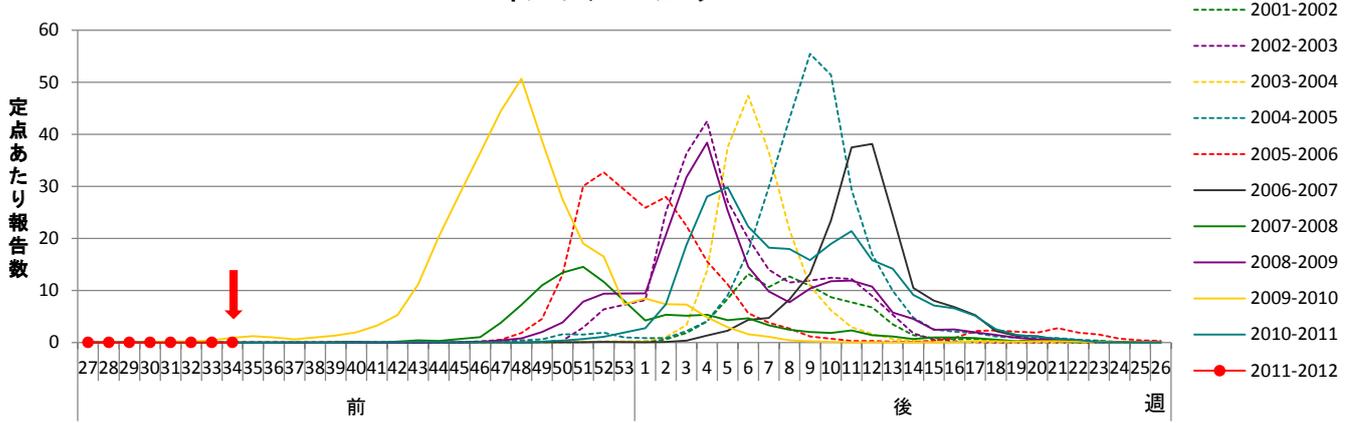
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

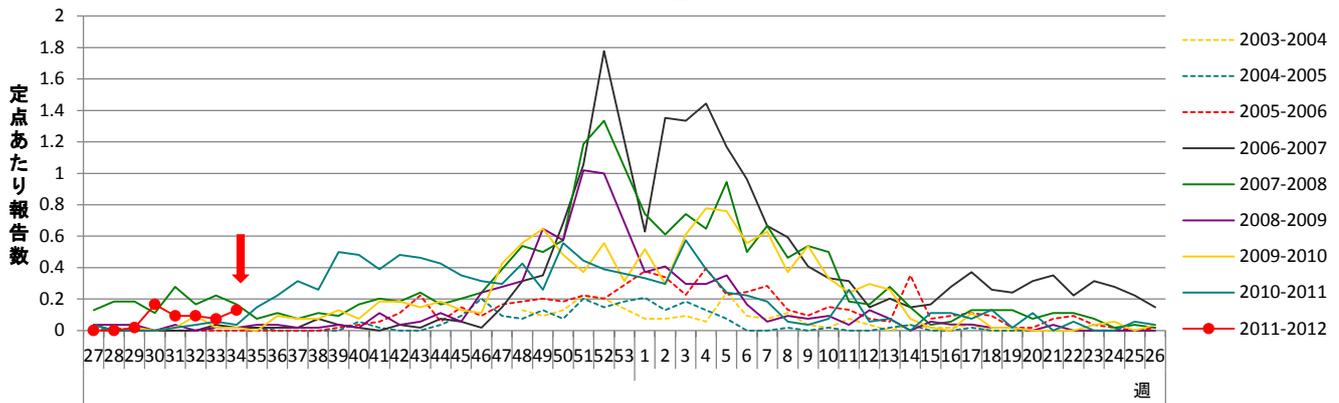
2011年 34週

分類	疾病名	2011			疾病名	2011			疾病名	2011		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	314	352	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	35	66
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	2	2
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	2	1	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	1	-	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	1	-
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	12	19	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	7	13	ウイルス性肝炎*3	-	6	7	急性脳炎*4	-	1	1
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	1	1
	後天性免疫不全症候群	-	8	22	ジアルジア症	-	2	5	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	7	9	破傷風	-	1	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	風しん	-	-	2
	麻しん	-	4	3		-	-	-		-	-	-

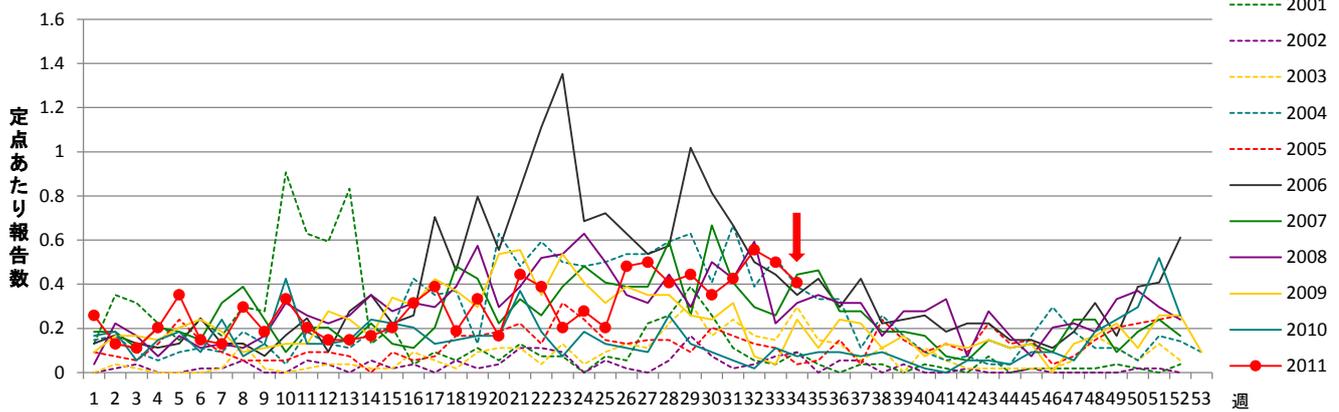
インフルエンザ



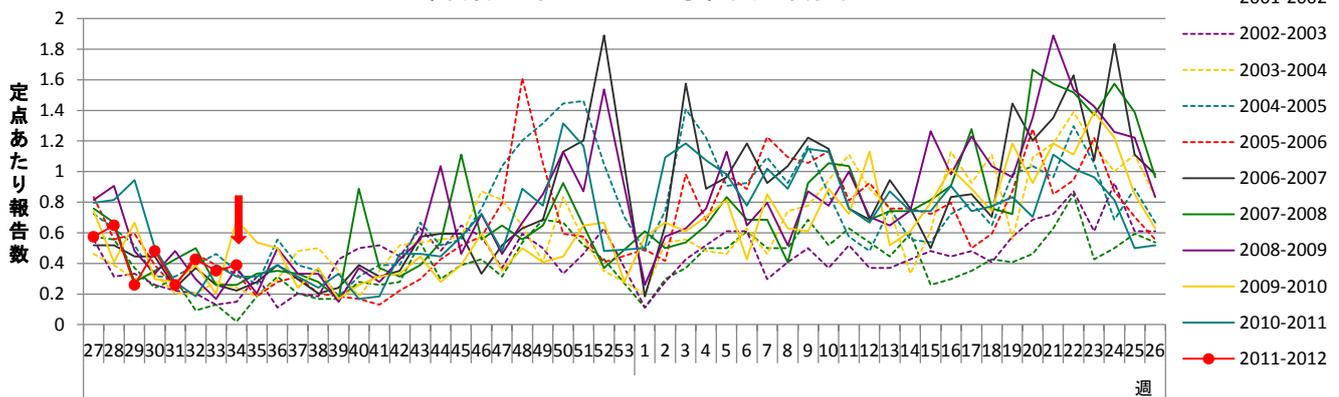
RSウイルス感染症



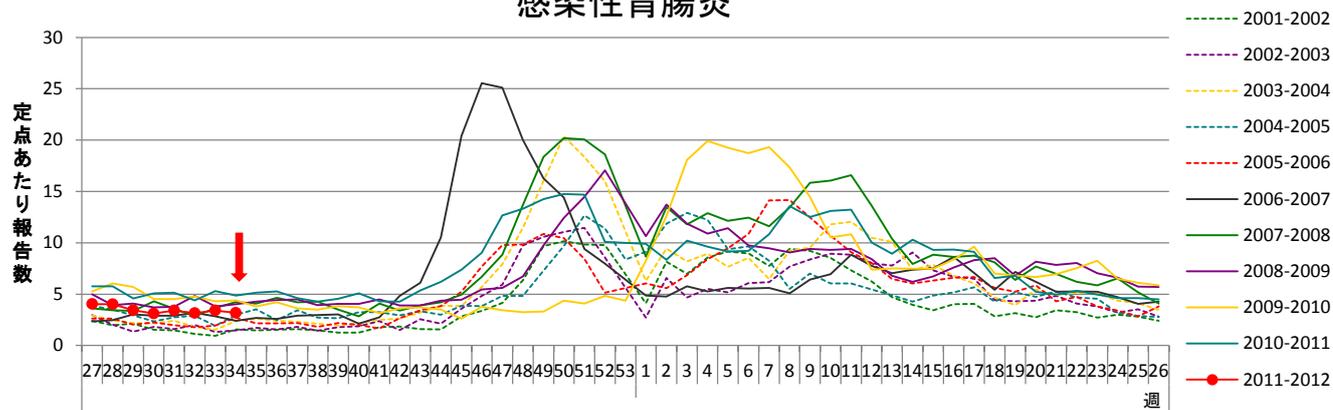
咽頭結膜熱



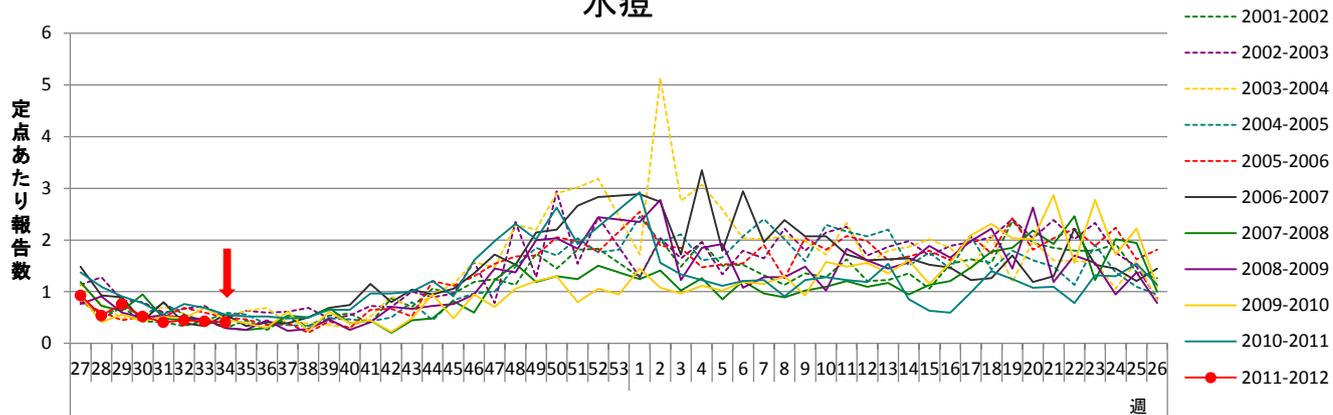
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



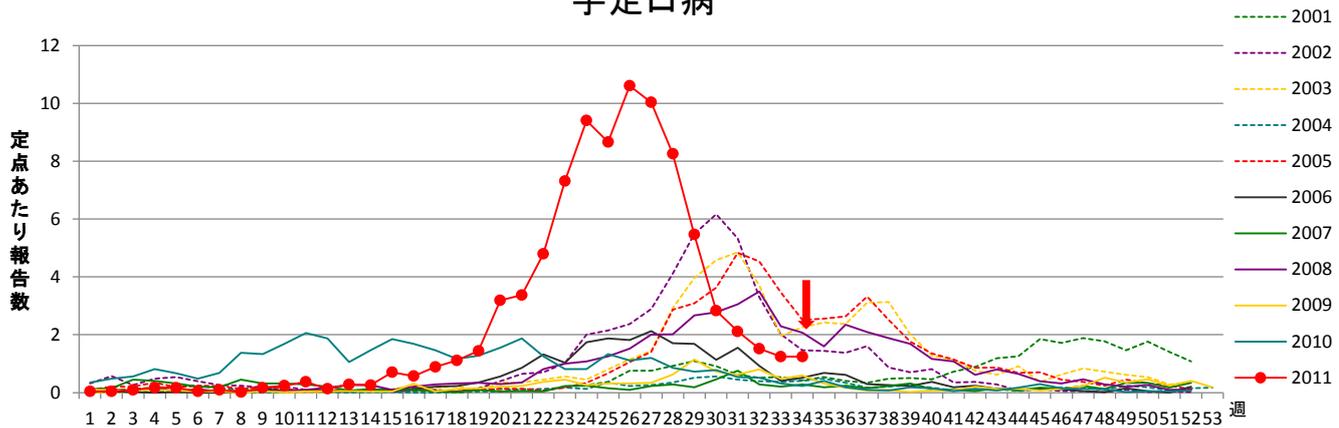
感染性胃腸炎



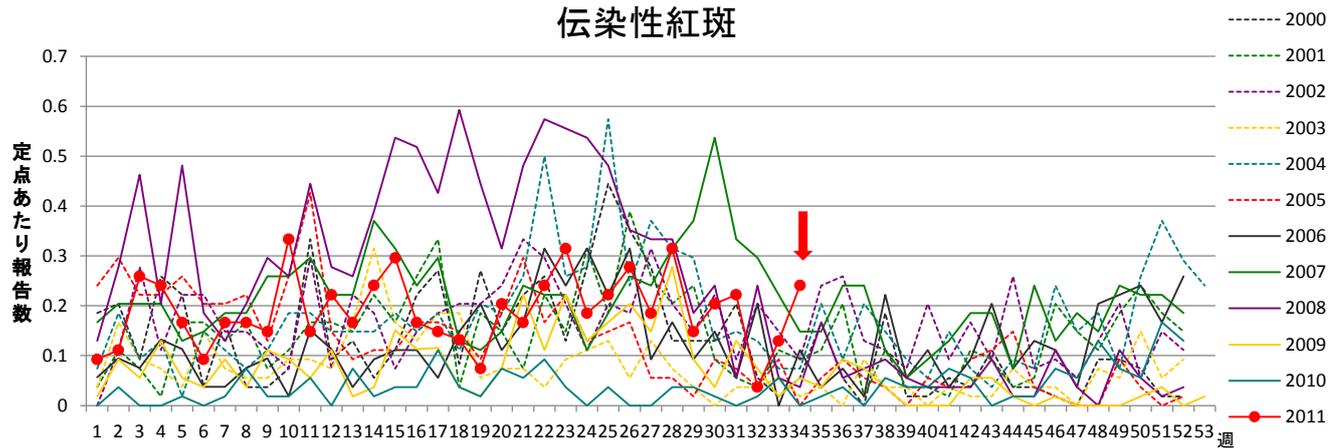
水痘



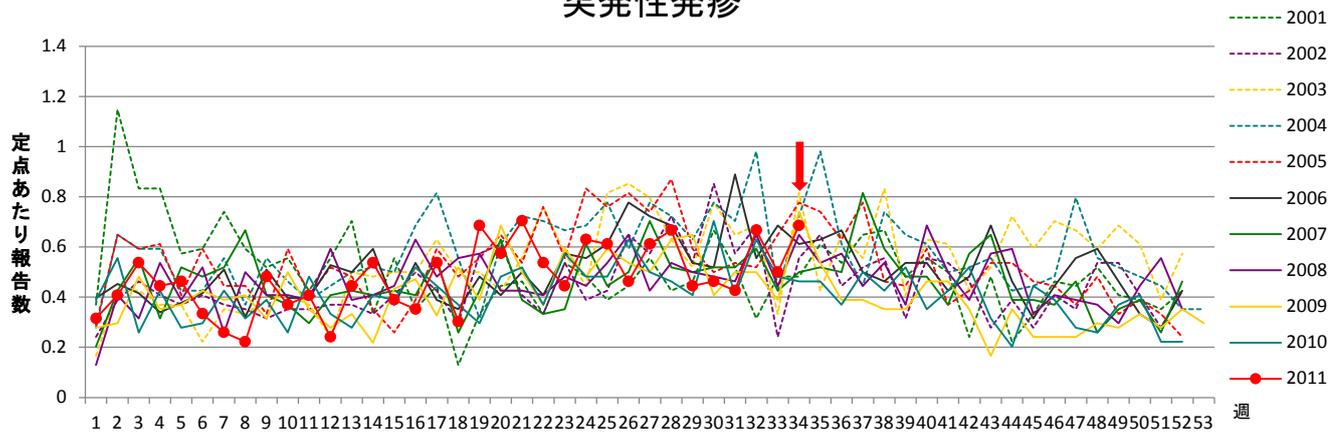
手足口病



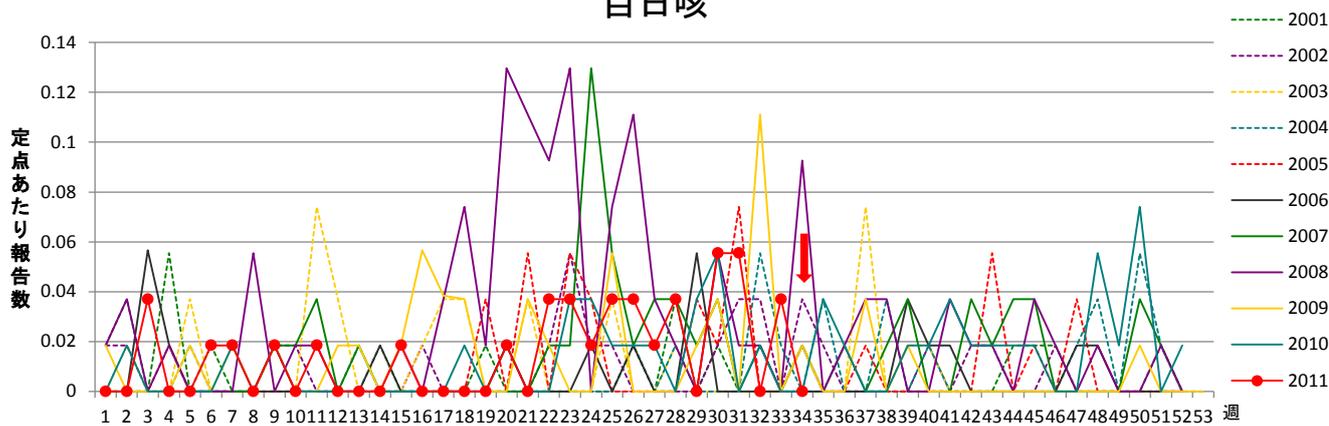
伝染性紅斑



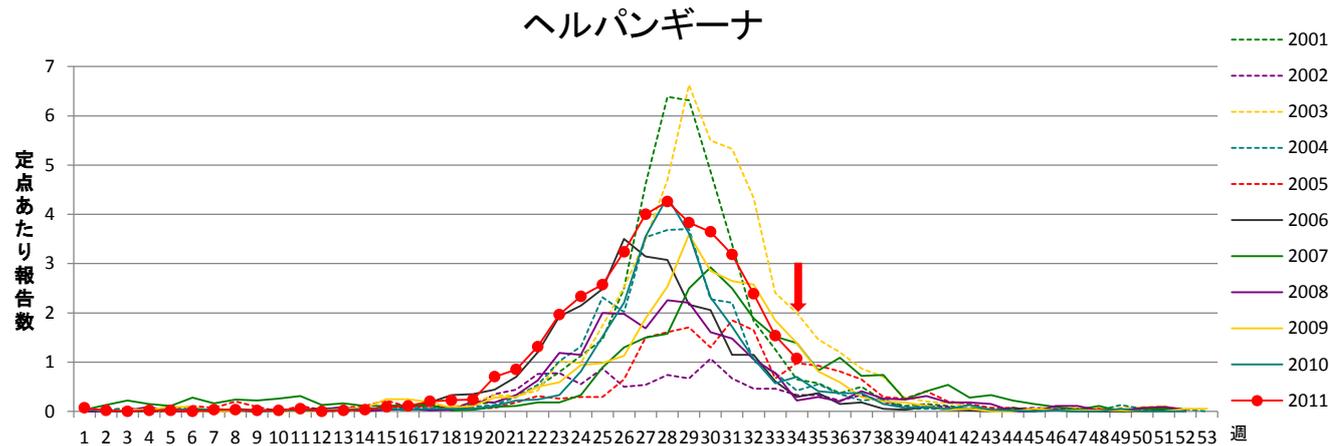
突発性発疹



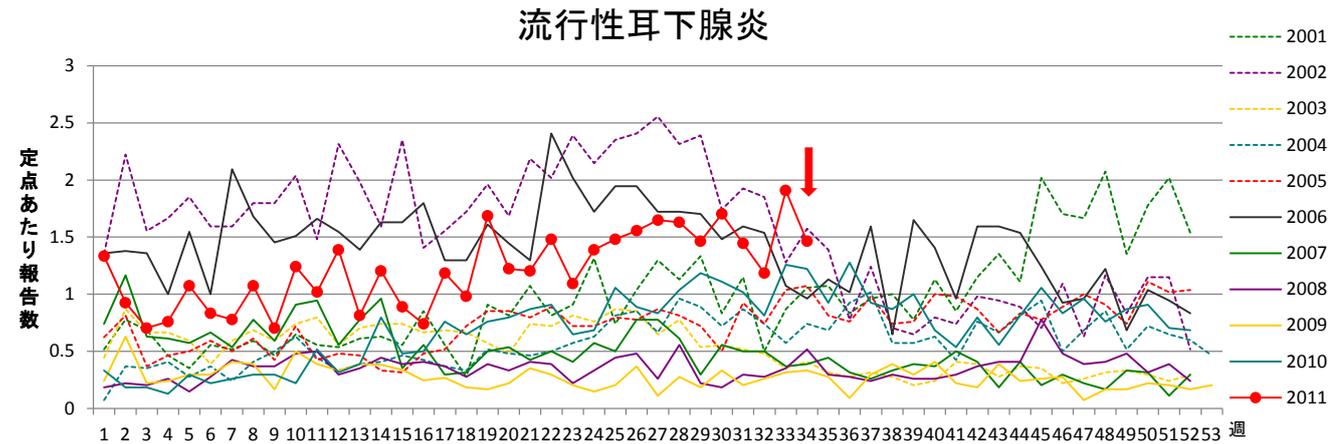
百日咳



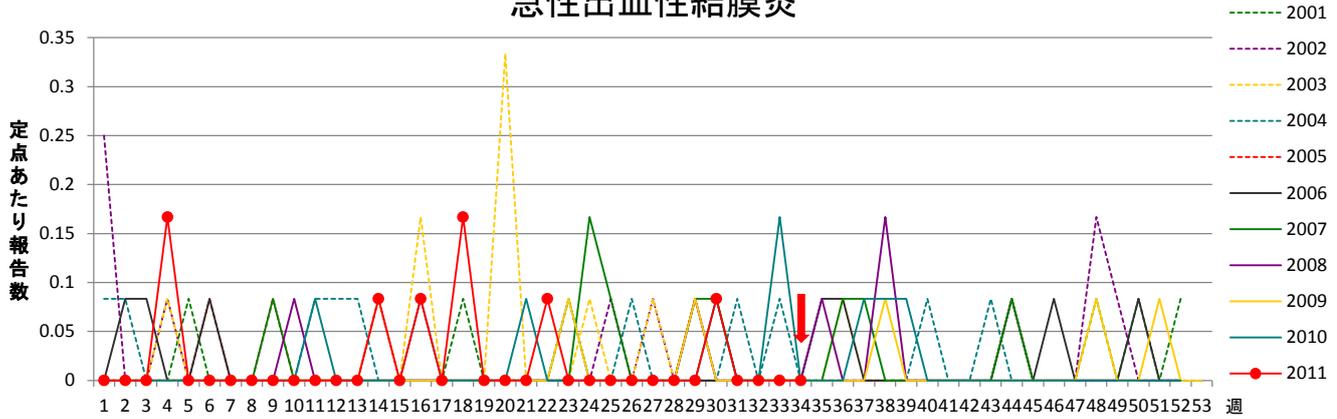
ヘルパンギーナ



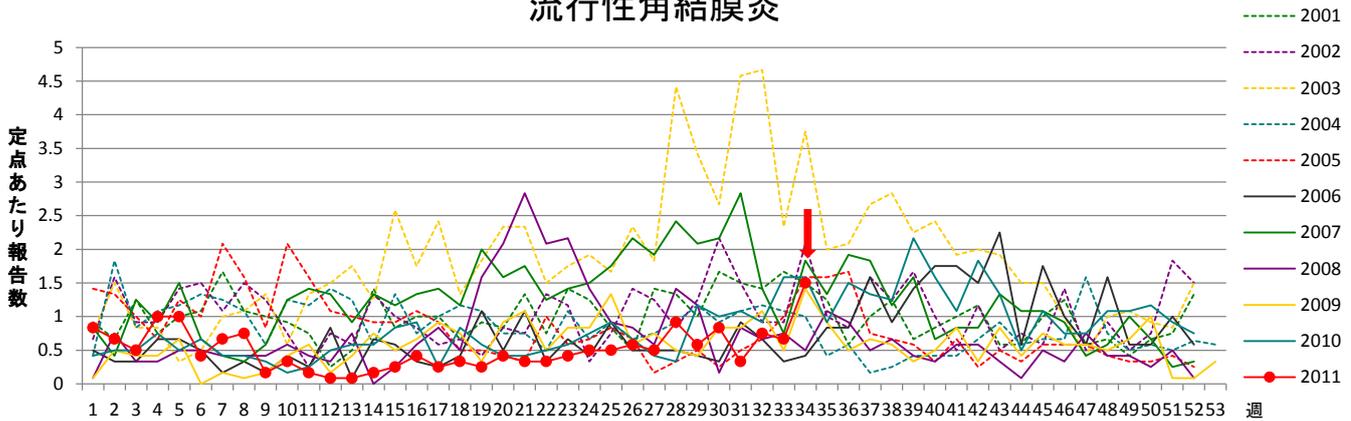
流行性耳下腺炎



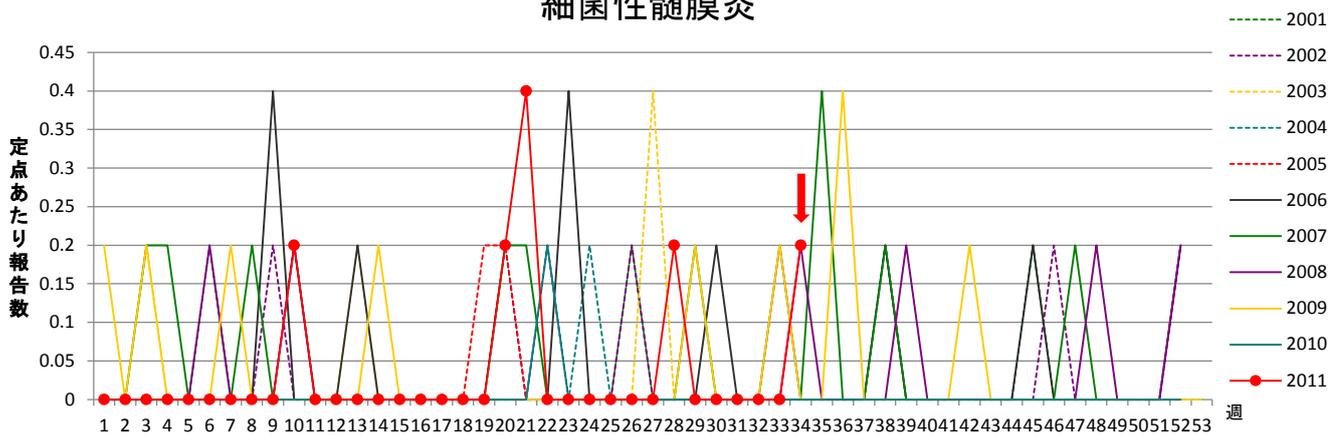
急性出血性結膜炎



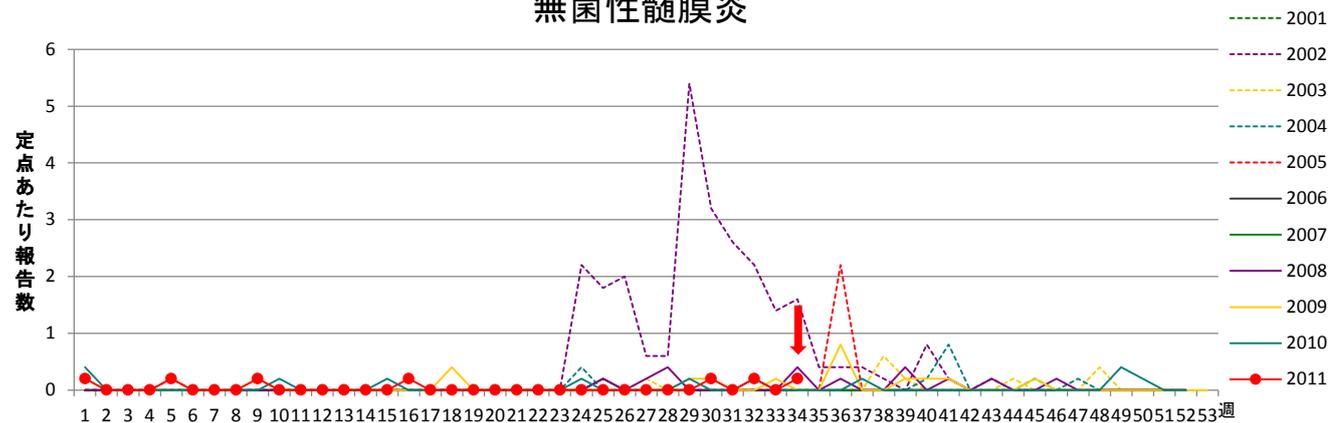
流行性角結膜炎



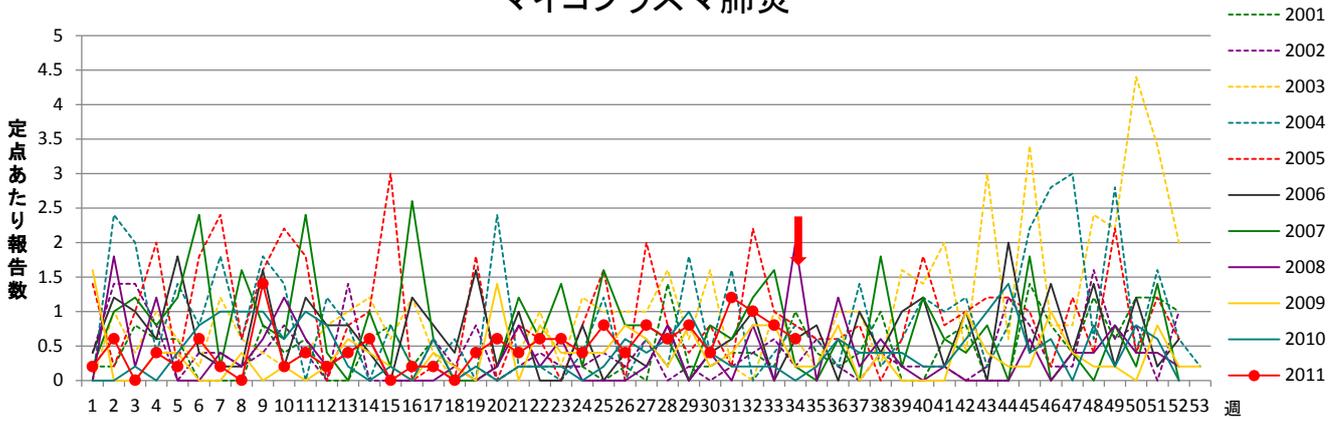
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

